



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月11日

上場会社名 ユニデンホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6815 URL http://www.uniden.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西川 健之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 武藤 竜弘 (TEL) 03-5543-2812  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	7,818	△6.6	1,043	10.2	1,004	20.3	758	124.0
2020年3月期第2四半期	8,368	△17.8	946	△23.2	835	△35.0	338	△59.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 982百万円 250.0% 2020年3月期第2四半期 280百万円 △78.6%

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	128.98	—
2020年3月期第2四半期	57.56	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	46,034	29,711	62.8
2020年3月期	41,556	28,726	67.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 28,918百万円 2020年3月期 28,024百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	△5.2	1,600	193.9	1,350	200.2	900	—	154.27

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	6,313,964株	2020年3月期	6,313,964株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	434,109株	2020年3月期	433,908株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	5,879,972株	2020年3月期2Q	5,880,865株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、売上高および営業利益を重要な経営指標と位置付けており、エレクトロニクス事業においては、CB無線機、スキャナーラジオ、レーダーディテクター、車載用モニターなどの製品を積極的に販売展開しております。また、前年度に引き続き、生産コストや販売費及び一般管理費の見直しを継続的に実施しております。加えて、不採算モデルの統廃合等による、選択と集中に取り組んでおります。しかしながら、不動産事業においては安定した賃貸収入を基盤としているものの、コロナウィルス感染拡大により、慎重な売買活動を強いられております。当社グループ全体では、前年同期と比較して売上高は、第1四半期の大幅な落ち込みを回復しきれず、550百万円の減収となりましたが、特にエレクトロニクス事業の採算改善の取り組みの効果発現により、営業利益は97百万円の増益となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高7,818百万円(前年同四半期比6.6%減)、営業利益1,043百万円(同10.2%増)、経常利益1,004百万円(同20.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益758百万円(同124.0%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 《エレクトロニクス事業》

当事業では、主に、無線通信・応用機器、デジタル家電機器、電話関連機器の製造販売を行ってまいりました。当事業の売上高は5,214百万円(前年同四半期比5.5%減)となりました。製品区分別の内訳は主に次のとおりであります。

##### 〔無線通信・応用機器〕

当区分では、北米市場においてレーダーディテクターは前期に市場リリースした高価格帯の新機種の販売が好調に推移しており、売上高は前年同四半期比12.9%増となっています。また、特に北米地域の主力商品であるスキャナーが、コロナウィルス感染拡大に伴う巣籠もり需要の増加によって、売上高が同37.4%増となり、大きく販売を伸ばしています。一方で海上無線は大手量販店の経営方針転換により、昨年度後半より同社向けOEM供給ビジネスの実績が低下し、売上高は横ばいに留まりました。オセアニア市場では前期客先の在庫調整による購入控えで苦戦したUCB無線機の販売が好調に推移し、ワイヤレスセキュリティカメラの販売が引き続き好調を維持していることにより、売上の増加となっています。当区分全体では売上台数48万台(前年同四半期比2.2%減)、売上高4,233百万円(同3.8%増)となりました。

##### 〔デジタル家電機器〕

当区分では、国内市場での車載用チューナーの需要の低下により販売が大変厳しい状況でした。また、前年好調であった車載モニターも、コロナウィルス感染拡大に伴う自動車販売台数低迷により、低調な需要となりました。当区分全体では売上台数1.2万台(前年同四半期比46.1%減)、売上高323百万円(同48.2%減)となりました。

##### 〔電話関連機器〕

当区分では、オセアニア市場において、マーケットシェアは首位を維持しているものの、全体的に市場規模の縮小傾向が続き、主力製品であるコードレス電話の売上が減少しております。当区分全体では売上台数12.6万台(前年同四半期比23.3%減)、売上高は458百万円(同29.2%減)となりました。

#### 《不動産事業》

当事業では、前年度に引き続き安定した賃貸事業の収益体制を背景に、当年度も販売事業を積極的に推し進める計画でした。しかしながら、コロナウィルス感染拡大による不動産マーケットの不透明感から、慎重に売買を検討した結果、当事業全体では、売上高2,612百万円(前年同四半期比8.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は29,848百万円(前期末比4,573百万円増)となりました。これは、主として販売用不動産が4,752百万円、受取手形及び売掛金が285百万円、原材料及び貯蔵品が155百万円、それぞれ増加し、その他流動資産が470百万円、商品及び製品が134百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は16,186百万円(同95百万円減)となりました。これは、有形固定資産が74百万円、無形固定資産が18百万円、投資その他の資産が2百万円、それぞれ減少したことによるものです。

この結果、資産合計は46,034百万円(同4,477百万円増)となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は4,267百万円(前期末比46百万円増)となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が316百万円、未払法人税等が158百万円、それぞれ増加し、特別調査費用引当金が240百万円、未払費用が243百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は、不動産物件購入のため、長期借入を実施した結果、12,055百万円(同3,445百万円増)となりました。

この結果、負債合計は16,322百万円(同3,492百万円増)となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は29,711百万円(前期末比985百万円増)となりました。これは、主として利益剰余金が758百万円、為替換算調整勘定が136百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大の収束時期が見通せない中、経済活動再開の検討も始まっておりますが、予断を許さない状況が続くことが見込まれます。

このような状況の中、前期に確立した収益体質の基盤をさらに強化すべく、収益構造の改善と営業体制の強化に取り組んでまいります。なお、米ドルの為替レートは、1ドル=105.00円を使用しております(参考当期実績レート：1ドル=107.62円)。

具体的な施策及び翌期の業績予想は以下のとおりです。

<当期施策>

① 製品競争力の強化：

採算性重視施策の継続的な運用、市場での各カテゴリーにおけるシェアの拡大  
エレクトロニクス事業における新規カテゴリーの開発と展開  
電子商取引(E-commerce)の強化  
不採算カテゴリーの撤退

② 次世代成長事業の確立：

不動産事業の拡大と更なる収益化

③ 人財活用の徹底：

人事・組織の継続的見直しによる業務遂行体制の強化

④ 経営管理部門の強化

各子会社に対する速やかな意思決定を本社指導で行うための体制の確立

<連結業績予想>

売上高	：	19,000百万円
営業利益	：	1,600百万円
経常利益	：	1,350百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	：	900百万円

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,230	7,214
受取手形及び売掛金	2,307	2,593
商品及び製品	1,057	923
販売用不動産	12,202	16,954
仕掛品	217	216
原材料及び貯蔵品	669	824
その他	1,594	1,124
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	25,274	29,848
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,167	2,099
機械装置及び運搬具（純額）	115	119
工具、器具及び備品（純額）	287	252
土地	12,118	12,118
建設仮勘定	170	193
有形固定資産合計	14,858	14,783
無形固定資産	141	122
投資その他の資産		
投資有価証券	690	694
その他	715	709
貸倒引当金	△123	△123
投資その他の資産合計	1,282	1,280
固定資産合計	16,282	16,186
資産合計	41,556	46,034

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	703	1,020
短期借入金	534	519
1年内返済予定の長期借入金	285	337
未払費用	1,128	885
未払法人税等	613	772
賞与引当金	75	133
役員賞与引当金	7	26
製品保証引当金	14	17
特別調査費用引当金	240	—
その他	617	554
流動負債合計	4,221	4,267
固定負債		
長期借入金	8,218	11,662
その他	390	392
固定負債合計	8,609	12,055
負債合計	12,830	16,322
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,000	18,000
資本剰余金	27,969	27,969
利益剰余金	975	1,734
自己株式	△7,338	△7,339
株主資本合計	39,605	40,363
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△11,581	△11,445
その他の包括利益累計額合計	△11,581	△11,445
非支配株主持分	701	793
純資産合計	28,726	29,711
負債純資産合計	41,556	46,034

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	8,368	7,818
売上原価	5,470	5,197
売上総利益	2,897	2,620
販売費及び一般管理費	1,951	1,577
営業利益	946	1,043
営業外収益		
受取利息	5	0
受取配当金	1	1
為替差益	—	8
持分法による投資利益	0	—
作業くず売却益	0	0
その他	1	4
営業外収益合計	9	16
営業外費用		
支払利息	14	33
為替差損	91	—
寄付金	11	13
持分法による投資損失	—	7
その他	2	0
営業外費用合計	119	54
経常利益	835	1,004
特別損失		
固定資産除売却損	3	—
特別損失合計	3	—
税金等調整前四半期純利益	831	1,004
法人税、住民税及び事業税	227	160
法人税等調整額	72	△5
法人税等合計	299	154
四半期純利益	531	849
非支配株主に帰属する四半期純利益	193	91
親会社株主に帰属する四半期純利益	338	758



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	531	849
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△245	120
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	11
その他の包括利益合計	△250	132
四半期包括利益	280	982
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87	890
非支配株主に係る四半期包括利益	193	91

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	831	1,004
減価償却費	168	173
固定資産除売却損益(△は益)	3	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△1
受取利息及び受取配当金	△6	△2
支払利息	14	33
為替差損益(△は益)	84	△18
持分法による投資損益(△は益)	△0	7
売上債権の増減額(△は増加)	208	△214
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,125	△4,765
仕入債務の増減額(△は減少)	△233	336
その他	△253	△10
小計	△312	△3,457
利息及び配当金の受取額	6	2
利息の支払額	△11	△33
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△514	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△832	△3,488
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6	△6
有形固定資産の取得による支出	△143	△76
無形固定資産の取得による支出	△7	—
その他	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△156	△82
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	2,015	4,800
長期借入金の返済による支出	△1,233	△1,302
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△581	△1
その他	△1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	197	3,494
現金及び現金同等物に係る換算差額	△150	53
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△942	△22
現金及び現金同等物の期首残高	9,577	6,956
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,634	6,934

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	エレクトロ ニクス事業	不動産事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,507	2,860	8,368	8,368	—	8,368
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	—	8	8	△8	—
計	5,516	2,860	8,376	8,376	△8	8,368
セグメント利益	274	671	946	946	—	946

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	エレクトロ ニクス事業	不動産事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,206	2,612	7,818	7,818	—	7,818
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	—	8	8	△8	—
計	5,214	2,612	7,827	7,827	△8	7,818
セグメント利益	565	477	1,043	1,043	—	1,043

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。